

PAC3反対 三重から岐阜へ

東海交流会へ参加を！

11月29・30日両日 PAC3反対の集会、行動で三重から岐阜と回ってきました。

三重県津市では地方自治ベースキャンプ市民塾のミサイル防衛を考える上映会です。岐阜は各務原の岐阜基地への申し入れです。

(三重集会)

三重の集会は当初の予定でPAC3配備基地の白山分屯基地の副隊長が広報ビデオの上映とあわせて話しをする予定でした。PAC3配備の地元自治体への説明の情報公開を主催者の求めたことに対して、基地から資料の提供と説明がありました。その上でこの集会にも参加するということになったのです。しかし、直前の25日に参加できないという連絡があり、理由やどこからの命令、指示かを聞いても一切答えられないということでした。結局広報用のDVDを貸すということになりました。

DVDの内容はミサイル防衛システムの説明とシミュレーションです。シミュレーションは某年に某国からミサイル攻撃があつてという想定です。そこでは法律や手続きにそつて無事にミサイルを迎撃し国民の安全はまもられたという内容です。

しかしこのシミュレーションは不十分なものです。そもそもミサイル攻撃があるというのは戦争が開始されたということであり、そうした状況は一切無視して構成されています。事態

を単発のミサイルの飛来に切り縮めて論じても意味がないのは当然でしょう。ミサイル攻撃とは自然災害とはまったく違うものなのです。

不戦ネットからは、ニュースステーションでの報道のビデオを上映しました。これは古いものですが内容的には現在も変わらない内容をもっています。PAC3の問題についても話をさせてもらいました。

- ① ミサイル防衛は米軍再編のなかで日米の一体化を促進するもの
- ② 東アジアの軍拡を拡大する
- ③ ミサイル防衛とは私たちの生活をまもるものではない
- ④ 市街地への展開という形で私たちの生活の場、街が基地に奪われる
- ⑤ 産軍複合体の強化が図られるという趣旨の内容を話しました。

三重でも今後PAC3反対の動きを始めるということが確認されました。

集会にさきだつて午前中に、白山基地へ行ってきました。地図でみると山道はかなりいったところにあるという印象でした。実際には久居インターから30キロくらいで1時間もかかりません。名古屋からだと高速経由で2時間強余りとわりと近くです。さらにメインの道路は二車線の整備されたもので、基地正門まで続いています。基地前から南北の道路は林道のような狭い山道で東海道自然歩道の一部になっていま

す。やはり基地のためのインフラ整備なのでしよう。

|| 岐阜申し入れ ||

30日は岐阜基地の航空祭です。ブルーインパルスの飛行の轟音が轟く元で申し入れを行いました。基地側とのやり取りのなかで、騒音にふれたところ、基地の担当者は「うるさいですか」といつてのけました。

飛行直下では会話も十分にできないような騒音のなかでうるさくないといえる感覚は疑わざるを得ません。騒音もないことにしてしまう基地のあり方には怒りも覚えます。

戦闘機の飛行では最大性能での急上昇や展開などが行われました。説明も最大性能を強調していました。最大性能とは騒音にとどまらず戦闘機の運動能力も最大限になるものです。当然危険とは紙一重です。市街地の真上でそのような危険な航空ショーが行なわれていいのでしょうか。性能の誇示は戦闘能力の誇示でもありません。

そのほかPAC2の展開システム展示もありました。PAC3は、基本的にはPAC2の機材等と同様のものです。システムには展開地での野営用の休息車や炊事者、給水車など一式が展示されていました。(早見)

同封のチラシにあるように、2月にも始まる東海地区へのPAC3配備反対・東海交流会を結成し、活動を始めています。2月7日には、集会・デモも行ないます。ぜひ、参加・賛同を！